

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	運動学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301 他
担 当 教 員	高田 秀志	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院やデイサービス等で地域医療に従事。福祉住環境コーディネータ2級取得。地域医療政策講座にて医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
運動器(筋、骨)の構造が、生体において、どのように機能しているか理解する。運動によって起こる反応を知る。本科目では、運動学の概論に加え、筋の起始停止について、理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70%、出席5%、小テスト25%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
基礎運動学 第6版						
《授業外における学習方法》						
事前に指定の教科書を読んでおく。事前に配布した「練習問題」の復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中に口頭試問、小テスト等行う。事前配付の資料を忘れない。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	運動学の必要性を説明できる		テキスト 配付資料	運動学概論を自分の言葉で説明できるようにA4 1枚にまとめる	
	各コマにおける授業予定	運動学の必要性				
第2回	授業を通じての到達目標	力学の計算方法を覚える		テキスト 配付資料	J-Webを使用した国家試験の「力学」の過去問題を解く	
	各コマにおける授業予定	運動の力学の計算方法				
第3回	授業を通じての到達目標	力学の計算方法を使って問題を解く		テキスト 配付資料	J-Webを使用した国家試験の「力学」の過去問題を解く	
	各コマにおける授業予定	運動の力学の計算方法の応用				
第4回	授業を通じての到達目標	骨の部位を述べることができる		テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える	
	各コマにおける授業予定	体幹の骨の部位				
第5回	授業を通じての到達目標	骨の部位を述べることができる		テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える	
	各コマにおける授業予定	上肢の骨の部位				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節の種類を述べることができる	テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える
		各コマにおける授業予定	関節の種類、動き		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	各関節の動きを述べることができる	テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える
		各コマにおける授業予定	各関節の動き		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節の筋の起始・停止を述べることができる	テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える
		各コマにおける授業予定	肩関節の筋の起始・停止		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節、前腕、手関節の筋の起始・停止を述べることができる	テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える
		各コマにおける授業予定	肘関節、前腕、手関節の筋の起始・停止		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹前面の筋の起始・停止を述べることができる	テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える
		各コマにおける授業予定	体幹前面の筋の起始・停止		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹後面の筋の起始・停止を述べることができる	テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える
		各コマにおける授業予定	体幹後面の筋の起始・停止		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節の筋の起始・停止を述べることができる	テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える
		各コマにおける授業予定	股関節の筋の起始・停止		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節・足関節の筋の起始・停止を述べることができる	テキスト 配付資料	前期でならった「骨関節系機能学」の骨の部位を覚える
		各コマにおける授業予定	膝関節・足関節の筋の起始・停止		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループワークの中で筋の起始・停止を述べることができる	テキスト 配付資料	自分の体でも表現できるように覚えやすい道具やノートを作成する
		各コマにおける授業予定	グループワークにて筋の起始・停止のまとめ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	グループワークにて骨模型を使用して筋の起始・停止を述べることができる	テキスト 配付資料	自分の体でも表現できるように覚えやすい道具やノートを作成する
		各コマにおける授業予定	グループワークにて骨模型を使用して筋の起始・停止		